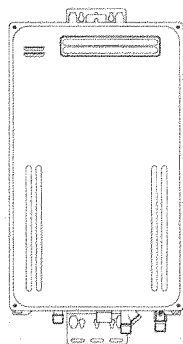


屋外設置形 (BL 認定品)

ガス給湯器

133-0060 型 133-0062 型 133-0064 型 133-0065 型

型式名 GS-243W GS-243T GS-243Y GS-243B



取扱説明書

 大阪ガス

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読み
いただき、十分に理解したうえで正しくお使いくだ
さい。別添の保証書とともに、この「取扱説明書」
をいつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管
してください。なお、ご不明な点があればお買い上
げの販売店にお問い合わせください。

大阪ガス株式会社

お問い合わせ先
別添 大阪ガスのお問い合わせ先
をご参照願います。

お願い ガスくさいときは、ガス栓を閉じ窓を全開にして、(火気に注意して)
大阪ガスに連絡してください。

OP2007

安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について■

この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただき万一の事故を未然に防ぐため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

危険 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



お願い ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。

(→P. XX参照) 参照ページを示しています。

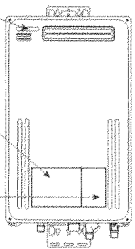
■機器本体の表示について■

注意 使用中は熱くなります。必ずお取り扱いください。

やけど注意
排気口や周囲が高温になるため、やけど注意を表示しています。

使用上の注意
使用上の注意について表示しています。

定格銘板
型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者等を表示しています。



(図は133-0060型を示します。)

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス給湯器をお買い上げいただき、ありがとうございました。

※取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、型式名・製造年月をお知らせください。

この製品の特長

- お使いになる湯温や、湯量に応じてガス量を自動調節します。
- 冬期、気温が下がると自動的に作動し、凍結を予防するヒーターが組み込まれています。
- 給湯温度を37C～75Cの間で16段階に調節できます。
- 湯量おしらせ機能
浴槽へお湯張りするときに便利な湯量おしらせプザーがついています。(P.17参照)

☆安全に正しくお使いいただくために・・・1
この取扱説明書の表示について
機器本体の表示について

☆この製品の特長・・・2
☆必ずお守りください・・・3
☆各部の名称とはたらき・・・8

☆ご利用前の準備・・・11
☆お湯を使うには・・・12
操作の基本・・・12
優先の切替えについて・・・13
給湯温度の調節・・・15

☆浴室から人を呼ぶ(呼び出しスイッチ)・・・16
☆湯量おしらせ機能を使うには・・・17
湯量(お湯張り量)の設定・・・17
湯量おしらせ機能を使ってお湯張りする・・・18

☆故障かな?と思ったら・・・19
お湯の出かた・・・19
機器本体・・・20
リモコン・・・21
リモコンにアラーム番号が出たとき・・・22

☆冬期の凍結予防をするには・・・23
☆点検のポイント・お手入れのしかた・・・27
☆仕様・・・29
☆アフターサービスについて・・・30

お使いいただくために

使いかた

故障かな?と思ったら

長くお使いいただくために

必ずお守りください

⚠ 危険

屋外用ガス機器

- この機器は屋外設置形ですので絶対に屋内に設置しない。不完全燃焼を起こし、大変危険です。

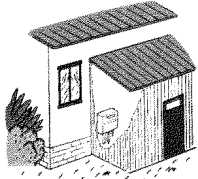
⚠ 警告

機器設置（および付帯工事）

- この機器は屋外設置形ですので、増改築などによって屋内状態にしない。また、排気口の前方に物を置いたり、設置後に機器を波板などで囲わない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。



禁止



- 機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。

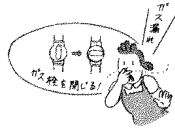
ガス漏れ時の処置

- ガス漏れに気づいたときは、すべての処置が終るまでのあいだ絶対に機器の運転をしたり、機器の近くで電気器具のスイッチの入・切や火を近づけたり、電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しない。炎や火花で引火し火災になることがあります。

- ①すぐに使用をやめてガス栓を閉じる。
- ②お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ連絡する。



火気厳禁

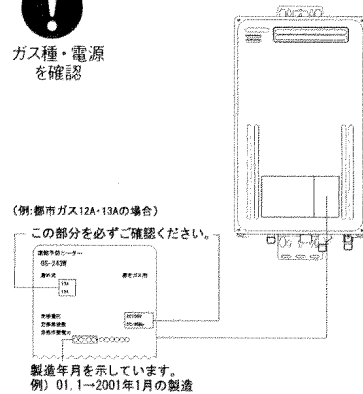


使用ガス、使用電源について

- 銘板（機器前面に貼付）に表示してあるガス種（ガスグループ）および電源（電圧・周波数）の適合を確認する。表示のガスおよび電源が一致しないと使用できない。もし、使用すると不完全燃焼による一酸化炭素中毒や爆発着火によるやけど、また機器が故障する場合があります。
- 転居されたときも、供給ガスの種類と銘板のガスの種類が一致していることを必ず確かめる。
- わからない場合はお買い上げの販売店、または大阪ガスへ連絡する。



ガス種・電源を確認



（図は133-0060型を示します。）

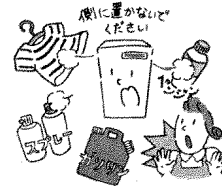
⚠ 警告

火災予防

- （可燃物に注意）
- 機器および排気口の周囲に燃えやすいものを置かない。火災の原因となります。
- 排気口は洗濯物などでおおわない。不完全燃焼の原因となります。
- （スプレー缶厳禁）
- 機器の周囲にスプレー缶、カセットコンロ用ボンベを置かない。熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発のおそれがあります。
- （引火のおそれがあるものの使用禁止）
- 機器の周囲ではガソリン、ベンジン、スプレーなど引火のおそれのあるものを使用しない。引火して火災を起こすおそれがあります。



禁止



給湯・シャワーを使うとき

- やけど防止のためお湯の出始めのお湯はいきなり体にかけない。万一の機器の故障の際には、一瞬熱いお湯が出る場合があります。
- 給湯・シャワーを使うときに最初に熱いお湯が出るので注意する。手で温度を確かめて湯温が安定してからお使いください。
- 給湯使用時は出湯管（蛇口）が熱くなるので、やけどに注意する。
- 給湯・シャワーの使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しない。突然、熱湯や冷水が出て思わぬ事故につながるおそれがあります。



手で温度を確かめる



ソーラーシステムと接続する場合

- ソーラーシステムと接続する場合は、出湯温度が設定温度より高くなることがありますので、必ずサーモスタット付混合水栓を使用し、手で温度を確かめてから使用する。

ガス接続について

- この機器のガス管の接続はねじ接続です。接続はお買い上げの販売店、または大阪ガスが行いますので、お買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご相談ください。

お子様には十分な注意を

- 浴槽にお湯張りしているときに、お子様を浴室で遊ばせない。思わぬ事故につながる場合があります。



異常時の処置について

- ①給湯栓を開けても点火しない場合、また、使用中で火が消える場合は、ただちに使用を中止してガス栓を閉じる。
- ②本書の「故障かな?と思ったら」(P.19~P.22)に従って処置をする。
- ③上記の処置をしても直らない場合、または、使用中に異常な燃焼や臭気、異常音、異常な温度を感じた場合は、使用を中止してお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ連絡する。
- 地震、火災などの緊急のときは使用をやめ、ガス栓を閉じる。



給湯栓・ガス栓を閉じる



分解禁止

分解しない

- お買い上げの販売店、または大阪ガス以外の人による分解、修理、改造は絶対に行わない。異常作動して事故の原因となります。

お使いいただくまえに

安全に正しくお使いいただくために、この内容は必ずお読みください。

必ずお守りください

⚠ 注意

電気事故防止

- 電源コードを加工したり無理な力を加えない。感電、ショートや発火による火災のおそれがあります。
- 傷んだプラグ、コードは使わない。差込みがゆるいと感電や火災の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグをさわらない。感電のおそれがあります。



禁止

- 電源プラグのほこりは、拭き取る。発火の原因になります。
- コンセントから電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く。コードを引っ張ると内部で断線して発熱や発火の原因になります。
- この機器は接地工事（アース）が必要なので、アースがされているか確認する。



アースを接続せよ

用途についての注意

- 一般家庭での台所・シャワー・洗面・浴槽への湯張りなどの給湯以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながる場合があります。
- 車両・船舶への搭載はしない。振動により機器が転倒し、火災や機器故障の原因になります。

やけどに注意

- 機器の使用時または使用後はしばらくは、排気口とその周辺部に絶対に手を触れない。高温になっていますのでやけどのおそれがあります。特に小さなお子様のおられるご家庭ではご注意ください。



接触禁止



お願い

断水のとき

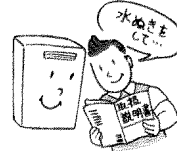
- 断水のときは、給湯栓を閉じ、リモコンの運転スイッチを切ってください。

雷が鳴ったあと機器が作動しないとき

- 落雷の際に、機器内の漏電リレーが作動したことが考えられます。この場合は電源プラグを一度コンセントから抜き、再度差し込んでください。それでも使用できないときはお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

長期間使用しないときは

- この取扱説明書P.24の「機器の水を抜く方法」に従って、水抜きを行ってください。水が長いあいだ流れないと、一瞬濁ったお湯が出たり、冬期に凍結する場合があります。



乾電池に関するご注意

- 乾電池を使用しているガス機器を大型ゴミなどで廃棄される場合は、必ず乾電池を取り外してください。そのまましておきますと思わぬ事故になることがあります。

お願い

停電時または電源プラグを抜いたとき

- この機器は、停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。
- 停電時は給湯栓を閉じてください。
- 再通電したときは、リモコンの設定（給湯温度・湯量など）を行い、表示を確認したあとご使用ください。
- 停電のときは、リモコンの再設定が必要です。



給湯栓を閉じる



飲用にお使いのときは

- 機器内に長時間たまった水（たとえば朝一番の使い始めのぬるい湯が出るまで）は、飲まないで雑用水としてお使いください。



用途についての注意

- 本製品は家庭用です。業務用にお使いになると著しく寿命が短くなることがあります。

市販の補助用具について

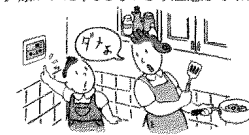
- 事故防止のため、この機器の純正部品以外は使用しないでください。
- 水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。
- やけど対策上、サーモスタット付混合水栓の使用をお勧めします。
- 混合水栓にはさまざまな種類があります。使用方法は、混合水栓の取扱説明書をご覧ください。

リモコンの扱いについて

- リモコンは分解しないでください。誤動作や故障の原因となります。
- 合所リモコンには水をかけないでください。浴室リモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。
- リモコンはお子様がいとずらしやすいよう注意してください。



分解禁止



凍結についての注意

- 凍結のおそれがあるときは、この取扱説明書のP.23「冬期の凍結予防をするには」に従って処置してください。おこたると機器内の水が凍って機器が破損することがあります。

凍結したとき

- 機器や配管が損傷した場合、高額な修理費がかかります（有料）。
- 凍結したままでは絶対に使用しないでください。
- 凍結がとけたあと再使用するときは、すべての給湯栓から水が出ることを確認し、機器および配管から水漏れがないことを確認後、P.25「再使用する時」の項以下の操作を行ってください。
- 凍結予防のために電氣を使用していますので緊急のとき以外は電源プラグを抜かないでください。

日常の点検・お手入れ

- 日常の点検、お手入れをしてください（詳しくはP.27をご覧ください）。
- 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときご家庭で修理せず、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- 浴槽や洗面台が、水中の微量の銅イオンと脂肪分（湯アカ）により青く着色することがあります。日々、浴槽や洗面台のお手入れをするとともに、万一着色した場合はクレンザーやアンモニア水（10%程度）等で拭き取ってください。

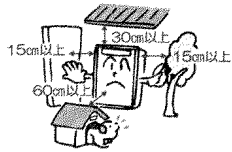
お使いいただくまえに

設置する場所や状況について

お願い

可燃物との離隔距離

●機器を設置する場所の周囲の壁、天井などが防火上安全なものであるか確認し、可燃性の部分から十分離して設置してください（不明な点は販売店へご相談ください）。

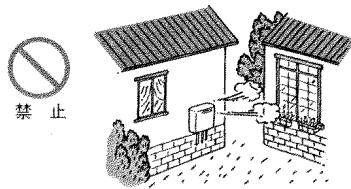


給排気について

●機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となります。

排気ガス

- 排気ガスが直接建物の外壁やアルミサッシなどに当たらないよう施工してください。外壁が変色したりアルミサッシが腐食したりするおそれがあります。
- 排気口の周囲には、排気口からの排気ガスによって加熱されて困るもの（危険物・植物・ペットなど）を置かないでください。



塩害

●海岸近くに設置するときは、潮風にさらされる場所を避けてください。機器が腐食し、故障の原因となります。

設置場所について

- 設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音（燃焼音、燃焼用送風機の声）で迷惑にならない場所に設置してください（工事担当者にご相談ください）。
- 足場などを組んだり、ハンゴ、脚立を使わなければメンテナンスができない高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。

塩ビ管の使用について

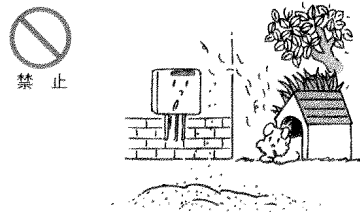
●給水・給湯配管に塩ビ管を使わないでください。機器の使用直後に熱交換器の後沸きにより塩ビ管が破裂し、熱湯がふき出したり、多量の水漏れの原因となります。

地下水や温泉水、井戸水の注意

●この機器は上水道用です。地下水や温泉水、井戸水を使用される場合は施工前に十分、水質を確認してください。水質によっては、機器内の配管内部に異物が付着するなど耐久性を損なう場合や、機器が正しく作動しないことがあります。保証期間内でも有料修理となります。

ほこり

●砂や油煙、ペットの毛など、ほこりのちややすい場所には設置しないでください。ほこりが給気口をふさいだり、燃焼用の送風機の性能を低下させ、不完全燃焼の原因となります。

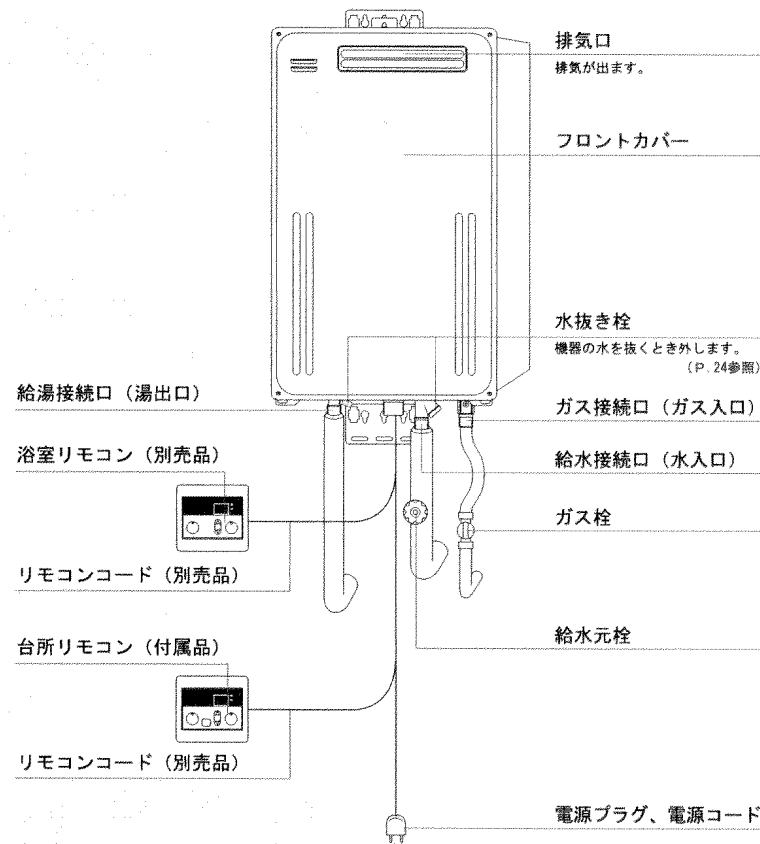


各部の名称とはたらき

この機器の各部の名称とはたらきをご紹介します。

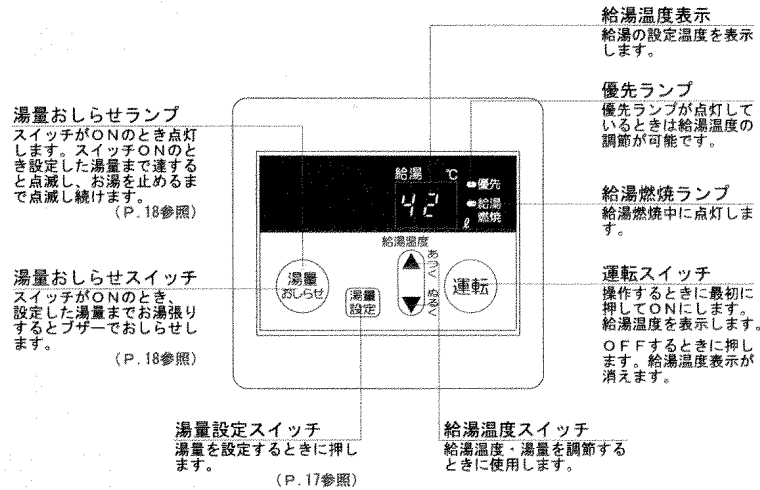
お使いいただくまえに

■機器本体（図は133-0060型を示します。）

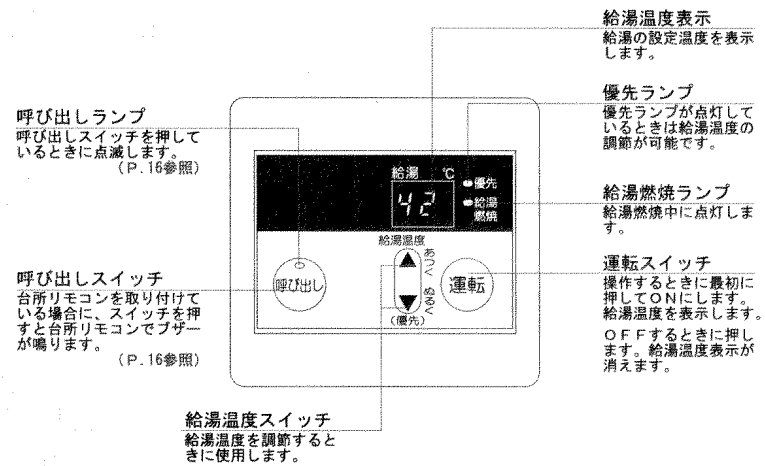


各部の名称とはたらき

■台所リモコン (付属品)



■浴室リモコン [138-0029型] (別売品)



お使いいただくまえに

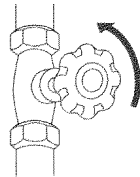
ご利用前の準備

はじめてお使いになるときは、まず屋外にある機器の準備をします。

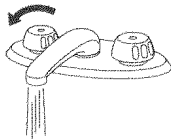
■機器の準備

- 1 この取扱説明書のP.27の内容に従って、機器や機器周辺の点検・確認を行います。

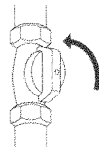
- 2 給水元栓を全開にします。
機器の下にあります。



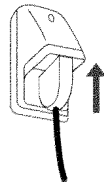
- 3 給湯栓を開け、水が出ることを確認したら



- 4 ガス栓を全開にします。
機器の下にあります。



- 5 電源プラグをコンセントに差し込みます。
コンセントは機器周辺部にあります。

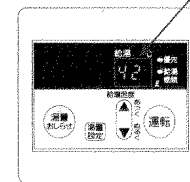


お湯を使うには

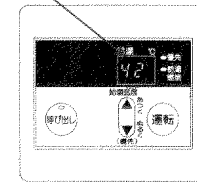
■操作の基本 リモコンの運転スイッチをONにして給湯栓を開けるだけの簡単操作でお湯が使えます。

- 1 台所リモコンまたは浴室リモコン（別売品）に給湯温度が表示されているか確認します。
表示されていないときは、運転スイッチを押します。

給湯温度を確認



〔台所リモコン〕



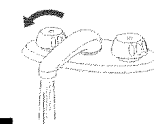
〔浴室リモコン〕
(別売品)

- 2 給湯栓を開けます。
しばらくしてお湯が出ます。
はじめてお使いになるときの給湯温度は42°Cに設定されています。
給湯燃焼ランプが点灯します。

給湯燃焼ランプが点灯



(図は台所リモコンを示す。)



- お湯を止めるには、給湯栓を閉じます**
お湯が止まると、給湯燃焼ランプが消灯します。
(ただし、他の給湯栓が使用中のときは消えません。)



警告 ●給湯、シャワー等を使うときは、給湯温度を確認し、手で温度を確かめてから使う。やけどのおそれがあります。

●ご注意ください

- 給湯栓を閉じても機器の燃焼用ファンモーターがしばらく回転しますが、故障ではありません。

●お願い

- 使いはじめは給湯配管の水が流れ出るまでしばらくお湯が出ません(配管の長さによりお湯が出るまでの時間が異なります)。
- 給湯栓をしばらく過ぎると、熱いお湯が出たり、水になることがあります。
- 水温が30°C近くなる夏期では、低温に設定しても給湯栓の湯量が少ないと給湯温度が高くなります。この場合は給湯栓をさらに開けて湯量を多くするか、水と混合してお使いください。

お湯を使うには

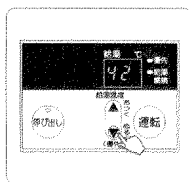
■優先の切替えについて この項は別売品の浴室リモコンを取付けている場合にお読みください。

台所の給湯温度と同じ温度で浴室のシャワーを使うと熱い場合があります。給湯温度が調節できるリモコンを「優先」と呼び、リモコンのどちらか一方を優先にできます。シャワーを使うときは、浴室リモコンを優先にし、浴室リモコンで設定した湯温でシャワーを使えます。また、優先を切替えることを「優先切替」といいます。

- 1** 台所リモコンが優先のときに浴室リモコンを優先にするには、浴室リモコンの▼スイッチを押します。

優先ランプが点灯します。
浴室リモコンが優先となり、浴室からお湯の温度調節ができます。

優先ランプが点灯

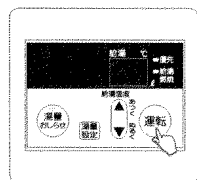


〔浴室リモコン〕
(別売品)

- 2** 浴室リモコンが優先のときに台所リモコンを優先にするには、台所リモコンの運転スイッチをOFFにして再度ONにします。

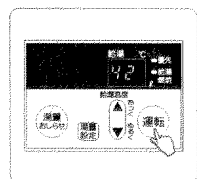
優先ランプが点灯します。
台所リモコンが優先となり、台所からお湯の温度調節ができます。

給湯温度が消える
(運転スイッチOFF)



〔台所リモコン〕

給湯温度と優先ランプが点灯
(運転スイッチON)



⚠警告 ●シャワー・給湯の使用中に優先を切替えない。お湯の温度が急変してやけどをするおそれがあります。

📌ご注意ください

- 台所リモコンでは優先ランプが点灯していないときに給湯温度を設定しようとすると、“ビビビビビ”と警告音が鳴って受け付けません。優先を切替えてから給湯温度を設定してください。
- 優先を切替えるときには、他の場所で使われていないことを確認してから切替えてください。



- 優先を切替えたとき、切替え前の給湯温度が60°C以上だった場合には、自動的に55°Cにセット直されます。
- やけどを防ぐため、サーモスタット付混合水栓の使用をお勧めします。

使いかた

お湯を使うには

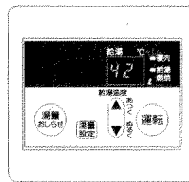
■ 給湯温度の調節 シャワーや台所で使うお湯の温度を調節します。

1 給湯温度を調節したいリモコンに優先ランプが点灯しているか確かめます。

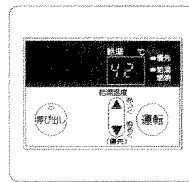
優先ランプが点灯していないときには、

P.13に従って点灯させてください。

優先ランプが点灯



〔台所リモコン〕



〔浴室リモコン〕
(別売品)

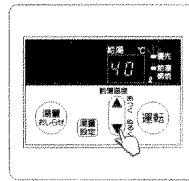
2 給湯温度スイッチで給湯温度を調節します。

▲ スイッチを押すと温度が高くなります。

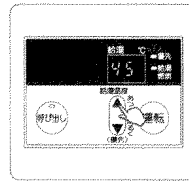
▼ スイッチを押すと温度が低くなります。

以下の16段階で設定できます。

37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 50 55 60 70 75°C



〔台所リモコン〕



〔浴室リモコン〕
(別売品)

お願

- 55°C以下の温度でシャワーや給湯を使っているときは、やけど防止のため60°C以上には設定できません。60°C以上に設定しようすると“ビビビビ”と警告音が鳴って受け付けません。
- 上記で60°C以上に設定したいときは、いったん出湯を止めてから行ってください。また、設定するときは他の場所で給湯が使われていないか、よくご確認ください。

XE

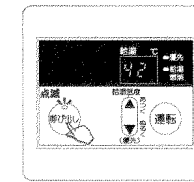
- はじめてお使いのときや停電時、電源プラグを抜いた場合など、一度通電が止まったあと再通電したときは、給湯温度表示が42°Cになります。再度セットし直してください。
- 通常、給湯温度は運転スイッチをOFFにしても記憶されていますが、給湯温度を60°C以上に設定したときはやけど等の危険防止のため、再度運転スイッチを入れたとき自動的に55°Cにセットされます。
- 表示している温度と給湯栓から出る湯温は、配管の長さや外気温等により必ずしも一致しません。表示温度は目安としてお考えください。

浴室から人を呼ぶ (呼び出しスイッチ)

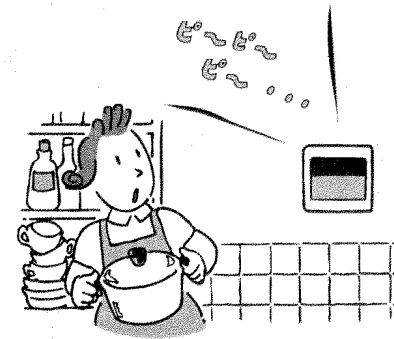
浴室にいるときに急に必要があって人を呼びたい、あるいは気分が悪くなったときなどに、押すだけで台所リモコンからブザーを鳴らして知らせる呼び出しスイッチを用意しました。浴室からお部屋にいる人を呼びたいときにご利用ください。

1 浴室リモコンの呼び出しスイッチを押します。

浴室リモコンでは“ピッ”と鳴り、呼び出しランプが約5秒間点滅して消灯します。台所リモコンでは“ピーピーー……”と鳴ってお知らせします。



〔浴室リモコン〕
(別売品)



XE

- 運転スイッチのON、OFFに関係なく操作できます。
- インターホンの機能はついていません。
- 浴室リモコンと台所リモコンを両方取付けていない場合、浴室からの呼び出しは使えません。

使いかた

湯量お知らせ機能を使うには

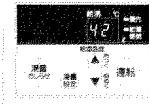
■湯量お知らせ機能について 湯量お知らせ機能を使えば、何度も浴室へ湯量を確認に行くことや、浴槽へのお湯の入れすぎもなく、お湯張りができます。設定した湯量になると台所リモコンのブザーが約10秒鳴り、お湯が張られたことをお知らせします。自動的には止まりませんので、お湯を止めてください。

■湯量（お湯張り量）の設定

1 台所リモコンに給湯温度が表示されているか確認します。

表示されていないときは、運転スイッチを押します。給湯湯温が適温が確認します。変更するときは、P.15に従って調節してください。

給湯温度を確認



2 湯量設定スイッチを押します。

給湯温度の表示が湯量の表示に変わって、点滅します。

湯量の表示が点滅



3 湯量を調節します。

▲ スイッチを押すと湯量が多くなります。
▼ スイッチを押すと湯量が少なくなります。
下1桁の“0”は表示せず、上2桁で表示され、以下の16段階で設定できます。

表示	5	12	14	16	18	20	22	24
設定	50ℓ	120ℓ	140ℓ	160ℓ	180ℓ	200ℓ	220ℓ	240ℓ
表示	26	28	30	32	34	36	40	50
設定	260ℓ	280ℓ	300ℓ	320ℓ	340ℓ	360ℓ	400ℓ	500ℓ

例：200ℓに設定したとき

給湯湯温の表示が点灯



4 湯量設定スイッチを押します。

湯量が設定され、湯量の表示から給湯温度表示に変わります。

(湯量設定スイッチを押さないまま約10秒たつと点滅がとまり、給湯温度表示に変わります。)

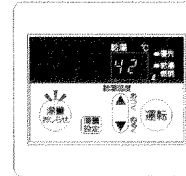
⚠注意 ●入浴するときは十分かきませ、手で温度を確認してから入浴する。やけどのおそれがあります。

●サーモスタート付き混合水栓をお使いの場合、リモコンの設定温度より低い温度に水栓の温度を設定すると、水が混合されて設定湯量より多くお湯張りしますので、浴槽からあふれることがあります。サーモスタート付き混合水栓で設定する温度は、リモコンで設定された温度以上でご使用ください。また、お湯張り終了後は、サーモスタート付混合水栓の設定温度を通常使用している温度に下げてください。

■湯量お知らせ機能を使ってお湯張りする

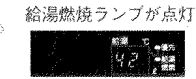
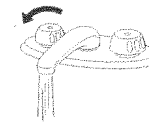
1 湯量お知らせランプが点灯していることを確認します。

点灯していないときは、湯量お知らせスイッチを押します。



2 給湯栓を開けます。

しばらくしてお湯が出ます。給湯燃焼ランプが点灯します。

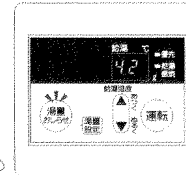


3 台所リモコンでブザーが鳴ったら、浴室の給湯栓を閉じます。

設定した湯量に達すると、台所リモコンでブザーが約10秒間鳴り、湯量お知らせランプが点灯から点滅に変わります。ランプはお湯を止めるまで点滅し続けます。(浴室リモコンでは、何もお知らせしません。)



湯量お知らせランプが点滅



湯量お知らせ機能を使用しないときには、湯量お知らせスイッチを押して湯量お知らせランプを消灯させてください。

- 湯量お知らせ機能を使うときは、給湯栓のみ開け、水と混ぜないでお湯張りしてください。
- 湯量お知らせ機能を使ってお湯張り中に台所など他の場所でお湯を使うと、他で使った量だけ浴槽へのお湯張り量が減りますので気をつけてください。(たとえば、設定湯量が180ℓのとき、台所で30ℓ使うと、浴槽に150ℓ入れたところでブザーが鳴ります。)
- 浴槽の種類によっては、あまり多めに設定するとあふれることがあります。初めは工場出荷時の180ℓでお湯張りし、実際の湯量を確認してから増減することをおすすめします。
- 設定湯量、湯量お知らせ機能は運転スイッチをOFFにしても記憶されていますが、停電や電源プラグを抜いた後再通電したときは、設定湯量が180ℓ、湯量お知らせランプ点灯の状態になりますので再度設定してお使いください。
- お湯張り完了のブザーが鳴る前に、次のことを行った場合湯量カウントが初めから行われ浴槽からあふれることがありますのでご注意ください。
- ①湯量お知らせ機能を使ってお湯張り中に一度すべての給湯栓を閉じたあと、再度給湯栓を開けて続けてお湯張りしたとき。
 - ②運転スイッチを一度OFFにして、再度ONにしたとき。
- お湯張り中に優先を切替えるとお湯の温度が変わります。お湯張り中には優先を切替えないでください。(別売の浴室リモコンをお使いの場合)

使いかた

故障かな？と思ったら

■お湯の出かた

こんなとき	故障ではありません
給湯栓を開いてもすぐにお湯が出ない	最初に使うときは、機器から給湯栓までの配管内の水が押し出されるまで少し時間がかかります。
夏などぬるいお湯が出ない	給湯栓を十分開いてお湯の量を多くすれば温度は安定します。水温が高いとき、ぬるいお湯を少量出そうとするとお湯の温度が高くなる場合があります。
冬などあついお湯が出ない	お湯の量を少なめにしてお使いください。水温が低いときには、お湯を出しすぎるとあついお湯が出ない場合があります。
給湯栓を絞りすぎて水になった	給湯栓を十分開いてお湯の量を多くすれば温度は安定します。機器から出るお湯の量が、1分間に約3.0ℓ以下になると消火するためです。
お湯が白く濁って見える	水の中の空気が分離して気泡となるためです。ビール・サイダー等の泡と似た現象であり、汚濁とは違って無害なものです。
給湯栓を開けたとき、お湯の量が変動する	湯温を安定させるために自動的に湯量調整をします。すぐに湯量は安定します。

こんなとき	ここを調べてください
あついお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ◎湯温調節は適切ですか？ (P. 15) ◎ガス栓が全開になっていますか？ (P. 11)
ぬるいお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ◎湯温調節は適切ですか？ (P. 15) ◎給水口フィルターが詰まっていますか？ (P. 28) ◎給湯栓が十分開いていますか？ (P. 12. 18) ◎給水元栓が全開になっていますか？ (P. 11)
お湯が出ない (運転しない)	<ul style="list-style-type: none"> ◎電源プラグが確実にコンセントに差し込まれていますか？ (P. 11) ◎停電していませんか？ (P. 6) ◎ガス栓が全開になっていますか？ (P. 11) ◎給水元栓が全開になっていますか？ (P. 11) ◎給水口フィルターが詰まっていますか？ (P. 28) ◎給湯栓が十分開いていますか？ (P. 12. 18) ◎断水していませんか？ ◎凍結していませんか？ (P. 26)

それでもわからないときは
アフターサービスをお申し付けください

■機器本体

こんなとき	故障ではありません
寒い日に排気口から白い湯気が出る	冬に吐く息が白いのと同じように、排気ガス中の水蒸気が白く見えます。
出湯停止後もファンの回転音がある	再使用時の点火をより早くするためしばらくは回転しています。
給湯栓を閉じると、給水側の水抜き栓から一瞬水が漏れる	給水側の水抜き栓は過圧防止安全装置をかかえています。水の圧力を逃がすために水が出る場合があります。

こんなとき	ここを調べてください
運転しない	<ul style="list-style-type: none"> ◎電源プラグが確実にコンセントに差し込まれていますか？ (P. 11) ◎停電していませんか？ (P. 6) ◎ガス栓が全開になっていますか？ (P. 11) ◎給水元栓が全開になっていますか？ (P. 11) ◎給水口フィルターが詰まっていますか？ (P. 28) ◎給湯栓が十分開いていますか？ (P. 12. 18) ◎断水していませんか？ ◎凍結していませんか？ (P. 26) <p>上の8項目を確認後、リセット操作をしてください。 〔リセット操作〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運転スイッチをOFFにし、約5秒後ONにしてお使いください。 ・本体操作の場合は、一度給湯栓を閉じ、約5秒後に再度給湯栓を開けてください。
運転中に機器から異常音がある	点検依頼をしてください。

それでもわからないときは
アフターサービスをお申し付けください

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら

■リモコン

こんなとき	故障ではありません
画面表示しない	<ul style="list-style-type: none"> ◎電源プラグが確実にコンセントに差し込まれていますか？ (P.11) ◎停電していませんか？ (P.6)
浴室リモコンの運転ランプが点灯しない	
給湯燃烧ランプが点灯しない (運転しない)	<ul style="list-style-type: none"> ◎電源プラグが確実にコンセントに差し込まれていますか？ (P.11) ◎停電していませんか？ (P.6) ◎ガス栓が全開になっていますか？ (P.11) ◎給水元栓が全開になっていますか？ (P.11) ◎給水口フィルターが詰まっていますか？ (P.28) ◎給湯栓が十分開いていますか？ (P.12.18) ◎断水していませんか？ ◎凍結していませんか？ (P.26) <p>上の8項目を確認後、リセット操作をしてください。 〔リセット操作〕 ・運転スイッチをOFFにし、約5秒後ONにしてお使いください。 ・本体操作の場合は、一度給湯栓を閉じ、約5秒後に再度給湯栓を開けてください。</p>
アラーム番号が表示されたとき	アラーム番号を確認してください。 (P.22)

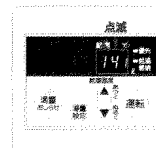
それでもわからないときは
アフターサービスをお申し付けください

■リモコンにアラーム番号がでたとき

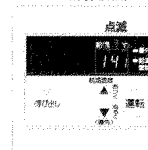
不具合が生じたとき、その原因をアラーム番号でお知らせします。原因に応じて表示部にアラーム番号が表示点滅し自動的に運転を停止します。アラーム番号が表示点滅したときは、お買い上げの販売店または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。その際は、表示されているアラーム番号もお知らせください。

例：図のようにアラーム番号が点滅してお知らせします。

〔台所リモコン〕



〔浴室リモコン (別売品)〕



本体表示	アラーム番号	原因	処置	
燃烧ランプ消灯 運転ランプ点滅	141 701 711 031	電装基板の異常のため ガス種選択異常	ガス栓が全開であることを確認後、リモコンの運転スイッチをOFFにし、5秒後運転スイッチをONにしてお使いください。	
燃烧ランプ点滅 運転ランプ消灯	111 121 510 511 721	火がつかないときや、使用中に炎が消えてしまったため ガス回路の故障のため 燃烧系の故障のため		
燃烧ランプ } 同時点滅 運転ランプ }	611	送風機の故障のため		
	311 321	温度検出器の故障のため		
燃烧ランプ } 交互点滅 運転ランプ }	331 391	燃烧異常検出装置の故障のため		
	561 651	水回路の故障のため		
	741 751	通信異常		
燃烧ランプ消灯 運転ランプ点滅	101	能力ダウン警告表示		機器の使用はできますが、十分な能力が出ない状態ですので、なるべく早く修理を依頼してください。
燃烧ランプ } 交互点滅 運転ランプ }	901	給気汚染異常		修理を依頼してください
燃烧ランプ点滅 運転ランプ消灯	991	燃烧異常検知装置の作動		機器の使用は出来ません。電源プラグを抜かないでガス・給水栓を閉じて修理を依頼してください。

燃烧ランプ、運転ランプは機器内部の電装基板についています。

■こんな場合には安全装置が働きます。()はアラーム番号

- 寒いとき、機器の電気ヒーターが働き機器内の凍結を予防します。 () 凍結予防装置
- バーナーの炎が消えた場合にガスを止めます。(121) () 立消え安全装置
- 電気回路に漏電が生じた場合に電気を停止します。() 漏電安全装置
- 給水されていないのに燃烧している場合にガスを止めます。(721) () 残火安全装置
- 機器の温度が異常に上昇した場合にガスを止めます。(141) () 過熱防止装置
- 機器内の水圧が異常に上昇した場合に機器の破損を防止します。() 過圧防止安全装置

故障かな？と思ったら

冬期の凍結予防をするには

■凍結予防装置について

通常の寒さのとき(外気温 -15°C 、有風 5m/s 程度まで)
この機器には、気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒーターがついています。そのため外気温 -15°C 程度までは、機器の電源プラグをコンセントに入れた状態にしておけば、機器内の凍結は予防できます。これらの装置は、運転スイッチのON/OFFに関係なく作動します。



- お願い**
- 凍結予防装置は電源プラグを抜いたり、ブレーカーを切ると作動しませんのでご注意ください。
 - 機器内の凍結は予防できますが、配管は凍結することがありますので、配管は必ず保温材で被覆してください。

寒波などで特に寒くなりそうなときは、以下のいずれかの方法で凍結予防をしてください。

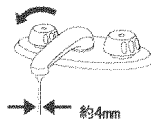
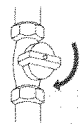
1. 給湯栓を開いて水を流す方法 2. 機器の水を抜く方法

1. 給湯栓を開いて水を流す方法

この方法は機器本体だけでなく、給水・給湯配管やバルブ類および給湯栓の凍結予防に有効です。

- リモコンの運転スイッチを押してリモコンをOFFにします。
- 浴室の給湯栓を開け、1分間に400cc(牛乳びん2本ぐらい)の水を流し続けます。流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量を確認してください。

2 ガス栓を閉じます。



- お願い**
- 次の朝、お使いになるときは、給湯栓を開けて水が出ることを確認してから、運転スイッチをONにしてください。

- XE**
- 1. 給湯栓を開いて水を流す方法で凍結予防をしているときは、家の人に凍結予防のために水を流していることをお知らせください。水を止めると凍結します。

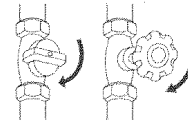
凍結を予防するための操作について説明します。

2. 機器の水を抜く方法

入居前や長期不在で家の電気ブレーカーを「切」にする場合や、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で機器内の水を排水し凍結予防をします。排水後は、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。

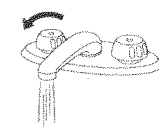
- △注意**
- 使用後すぐに水抜きをしない。やけどのおそれがあります。機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。

- 1 ガス栓(1)、給水元栓(2)を閉じます。

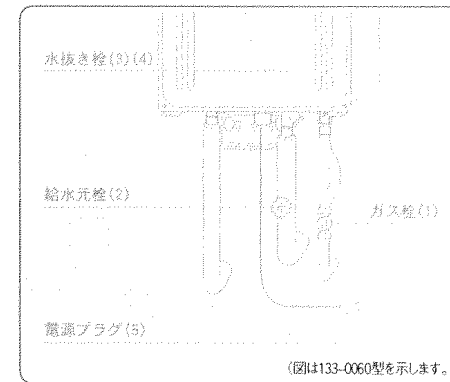


- 3 水抜き栓(3)(4)を外して水が出ることを確認します。

- 2 すべての給湯栓を全開にします。



- 4 必ず電源プラグ(5)を抜きます。(電源プラグを抜き忘れますと機器の故障の原因となります。)



- お願い**
- 水抜きをするとき床などに水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。

長くお使いいただくために

冬の凍結予防するには

■再使用するとき

機器内の水を排水したあと、しばらくして再度使用するときは次の操作をしてください。

- 1 水抜き栓(3)(4)およびすべての給湯栓を閉じます。



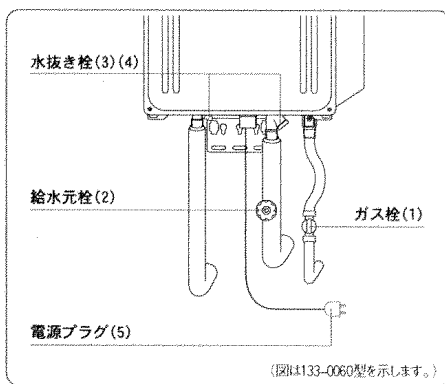
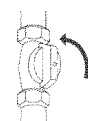
- 3 電源プラグ(5)をコンセントに差し込みます。



- 2 給水元栓(2)を開けて、すべての給湯栓から水が出ることを確認します。
(機器や配管より水漏れがないか確認してください。)



- 4 ガス栓(1)を開けます。



- お願い**
- 再使用するときは、水抜き栓を元通りに確実に閉じてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。
 - 水抜き栓の閉じ忘れなどによる水漏れで壁を汚したり、階下を濡らした場合は修理・補修費用がかかります。

■凍結してしまったとき

凍結したときは給湯栓を開けても水は出てきません。解凍するまで待って、次の操作により水が出ることを確認してから運転してください。

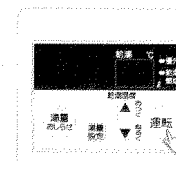
- 1 ガス栓(1)を閉じます。



- 2 給水元栓(2)を閉じます。
(配管が破損していると、解凍したときの水漏れの原因になります。)

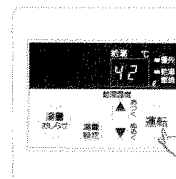


- 3 運転スイッチをOFFにします。



- 4 ときどき給水元栓を開けて、給湯栓から水が出ることを確認します。
水が出てくれれば使用できます。
通水したら機器および配管より水漏れがないことを確認してください。
ガス栓(1)を開けます。

- 5 運転スイッチをONにします。



- お願い**
- 取扱説明書に従った凍結予防の処置をせずに機器や配管が破損すると、高額の修理費用(有料)がかかる場合があります。
 - 給水・給湯配管が凍結すると配管や給湯栓が破損することがあります。解凍後は、水道メーターを見るなど水漏れしていないことを確認してください。
 - 機器や配管が破損し、床や壁などを濡らして生じる損害はお客様の責任となります。

長くお使いいただくために

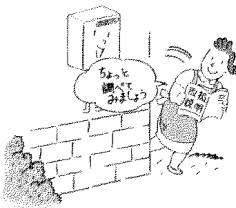
点検のポイント・お手入れのしかた

■点検のポイント

次の6つのポイントで点検してください。

- 1 機器および配管から水漏れはありませんか?
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。
- 2 機器および配管からガスの臭気はしませんか?
- 3 運転中に機器から異常音がしませんか?
- 4 機器の外観に異常は見られませんか?
- 5 機器のまわり、および排気口のそばに燃えやすいものはありますか?
- 6 給気口・排気口への積雪や、屋根から落ちた雪により排気口が塞がれていませんか?

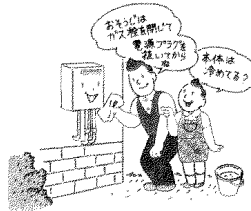
給気口・排気口が塞がれていると、機器が不完全燃焼することがあります。積雪時には給気口・排気口の点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が給気口・排気口をふさぐおそれがあるときはお買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。



■お手入れのしかた

機器本体およびリモコンのお手入れ

- 汚れは、水にぬらしたやわらかい布をかたく絞って、軽くふき取ってください。
- シンナー・ベンジンなどは使わないでください。変形する場合があります。



■定期点検のおすすめ(有料)

- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年一回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご相談ください。

警告 ●フロントカバーを外したり、リモコンを分解したりしない。



分解禁止

ご注意ください

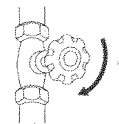
- 機器本体のお手入れは、ガス栓を閉じ、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。また、怪我などしないよう、指先には十分注意してください。
 - 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター(金網)を掃除してください。
 - 台所リモコンには水をかけないようにしてください。リモコンの内部には電気部品が入っていますので故障の原因となります。また、浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。
- お願い**
- 洗剤およびシンナー、ベンジンなどでは拭かないでください。
 - 水圧の低い地域では泡沫器は使用しないでください。

安全に長くお使いいただくために、点検とお手入れは定期的に行いましょう。

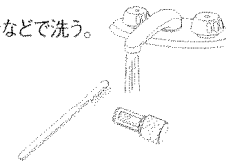
■給水口フィルターの掃除

給水口フィルターがつまるとお湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合があります。そのときは、次の要領で給水口フィルターを掃除してください。(特に、新築や井戸ポンプの場合)

1 給水元栓を閉じる。

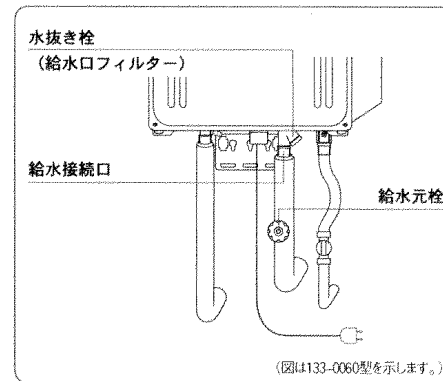


3 歯ブラシなどで洗う。



2 給水接続口にある水抜き栓(給水口フィルター)を外す。

4 元のように取り付ける。



お願い ●給水口フィルターを外すと水が出ます。

水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。

長くお使いいただくために

仕様

【仕様表】

項目	内容			
品番	133-0060型	133-0062型	133-0064型	133-0065型
型式名	GS-243W	GS-243T	GS-243Y	GS-243B
外形寸法 (mm)/質量 (kg)	幅350×奥行215×高さ571/22			
給湯方式	先止め式			
設置方式	屋外壁掛設置型 PS設置標準設置型	PS扉内設置 前方排気延長型	PS設置 アルコーブ設置型	PS扉内設置 後方排気延長型
点火方式	AC100V連続放電式 (ダイレクト着火)			
希望所要水圧	80~800kPa (0.8~8.0kgf/cm ²)			
最低作動水圧	10kPa (0.1kgf/cm ²)			
ガス	20A (R3/4) オネジ			
給湯	20A (R3/4) オネジ			
電源	AC100V (50/60Hz)			
リモコン側	DC24V以下			
無負荷	5W			
消費電力	55W	80W	55W	80W
凍結予防時	84W			
電源コード/リモコンコード	VCT (2心) 機外長2.0m / (2心)			
安全装置	水量検知装置 (水量センサー) 送風検知装置 (回転検知方式) 漏電安全装置 (漏電リレー) 凍結予防装置 (電気ヒーター) 残火安全装置 (バイメタル式) 過熱防止装置 (温度ヒューズ) 立消え安全装置 (フ列ムロード方式) 過圧防止安全装置 (スプリング式) 誘導電保護装置 (サージアブソーバー)			
付属品	台所リモコン・取扱説明書・工事説明書・問い合わせ先一覧・保証書			
別売品	浴室リモコン			

【能力表】

使用ガス 使用ガスグループ	1時間あたりのガス消費量 kW [kcal/h]	出湯能力 (最大時) (ℓ/min)		ガス接続
		水温+25℃上昇	水温+40℃上昇	
都市ガス 13A	52.3 [45,000]	24.0	15.0	20A (R3/4)
LPガス	52.5 [3,75kg/h]	24.0	15.0	

●ガス: JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき。

●出湯能力は、水圧200kPa [2kgf/cm²] のときで、温度を高くに設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。

●本仕様は改良のため、お知らせせずに変更することがあります。

アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

●P.19~P.22の「故障かな?と思ったら」の項を確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合には、ご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

●アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。

- (1) 氏名・住所・電話番号・道順 (付近の目印等)
- (2) 品名: (例) 133-0060型 **(N) 133-0060 (U)**
(ガスの種類: 例えば13A) **大阪ガス株式会社**
21-033-22-03363
- (3) 現象 (故障または異常内容、アラーム番号などできるだけ詳しく)
- (4) 訪問ご希望日

(上のようなラベルを機器前面に貼付してあります。)

転居または機器を移設される場合

●ガスの種類が、異なる地域へ転居される場合は、調整、改造の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社へご相談ください。

●増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

●設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。

●転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

アフターサービス等についてわからないとき

●お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへお問い合わせください。

保証について

- このガス給湯器には保証書がついています。
- 必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

長期間使用しない場合

●長時間使用しない場合は次の操作をしてください。

- (1) ガス栓を閉じます。
- (2) 給水元栓を閉じます。
- (3) 機器の水抜きを行います。
(水抜き方法は、P.24を参照してください)
- (4) 電源プラグを抜きます。

補修用性能部品の最低保有期間について

●この製品の補修用性能部品 (機能維持のために必要な部品) の最低保有期間は製造打切り後10年です。ただし、最低保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は有料で修理いたします。

長くお使いいただくために